

### 環境調査結果のお知らせ

令和8年4月27日10時から野見湾の環境調査を実施しました。

#### 概況

検鏡の結果、魚類に対して有害とされるコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で9 cells/mL確認されました。現在、本種は減少傾向にありますが、湾内には本種の細胞が残存しており、再び増殖する可能性がありますので、十分注意してください。

海や養殖魚の状態に応じて、餌止めや漁場避難などの慎重な養殖管理をお願いします。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス
1 避難漁場 (3.1m) 【10:35】	0	18.9	22.3	8.3	0
	2	21.3	33.8	7.5	0
	5	20.7	33.8	7.4	0
	10	20.1	33.7	7.6	0
	底層 24.5	20.0	33.9	7.3	-
A ガラク (2.7m) 【10:28】	0	19.4	24.6	8.2	0
	2	20.0	32.9	7.3	0
	5	20.4	33.6	7.6	0
	10	20.1	33.6	7.6	0
	底層 14	20.1	33.8	7.4	-
B 勢井 (3.9m) 【10:45】	0	19.9	27.8	7.9	0
	2	19.5	32.0	7.2	0
	5	19.7	33.3	7.6	7
	10	19.8	33.6	7.4	0
	底層 19.5	19.6	34.0	6.6	-
C 馬の背 (5.1m) 【10:51】	0	19.6	28.8	7.9	0
	2	19.5	32.1	7.8	0
	5	19.8	33.4	7.7	4
	10	19.8	33.7	7.7	0
	底層 19.5	19.6	33.9	7.1	-
D 大室戸 (3.2m) 【10:11】	0	19.2	27.8	8.0	0
	2	19.3	31.1	7.8	0
	5	19.8	33.4	7.8	9
	10	20.0	33.8	7.4	0
	底層 18	19.6	34.0	6.7	-
E 白浜 (2.9m) 【10:18】	0	19.3	25.3	8.1	0
	2	19.4	31.5	7.7	0
	3	19.7	33.0	7.6	3
	4	19.7	33.3	7.7	0
	5	19.8	33.5	7.8	0
	10	20.1	33.8	7.5	0
底層 17.5	19.7	33.9	7.3	-	

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス
F 大谷漁港内 (3m) 【11:02】	0	19.6	25.3	8.0	0
	2	19.7	31.8	7.7	0
	5	19.9	33.3	7.5	0
	底層 9.5	19.8	33.7	7.3	-
G 湾奥ブイ (4.3m) 【10:03】	0	19.3	28.6	8.2	0
	2	19.6	32.5	8.0	0
	5	19.8	33.4	7.9	4
	10	19.8	33.7	7.5	0
	底層 16	19.6	34.0	6.8	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3
				野見湾
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	2~4月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- 1: 避難漁場
- A: ガラク
- B: 勢井
- C: 馬の背
- D: 大室戸
- E: 白浜
- F: 大谷漁港内
- G: 湾奥ブイ

コクロディニウム・ポリクリコイデス  
最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ  
円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。



注意・警戒を示す円の色  
黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。  
基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

